

月刊 やちまなこ

2018. 3.15 発行

No.244

3月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

発達した低気圧の影響で釧路地方も大雨や暴風、そして気温の上昇による雪解けが進み、釧路管内の住宅地や道路、鉄路など増水による被害が出たようだ。釧路湿原を流れる川も増水し、塘路湖やシラルトロ湖の氷の上を水が勢いよく流れていた。のんびりと羽を休めていたオオハクチョウや繁殖のため釧路湿原に渡って来たアオサギの先発隊も何処へ行ったのか姿を消してしまった。毎年3月を迎えたころには爆弾低気圧とか彼岸荒れで大雪となることが多かったが、今回のように季節外れの大雨による被害や現象は施設開設以来、記憶にはない。

◎日本最小の鳥キクイタダキ

先日、夕暮れの塘路湖畔を歩いていると、背後から「チー」というか細い鳥の声が聞こえてきました。振り返ると、そこには松の木を枝をせわしく動き回る小鳥の姿。小さな体に頭頂には菊色の紋様、それは日本で最も小さい鳥の一つキクイタダキでした。塘路湖周辺ではまれな冬鳥で、体長は10cm、体重はわずか5gほど。つまり、体長はポケットティッシュの横幅と同じぐらい、そして重さはなんと百円玉一枚分しかないんです。しかし、枝から枝へと飛び回る姿は体の小ささを感じさせないほどエネルギーッシュ。あの小さな体のどこにそんな力が隠されているのでしょうか。



【動物】

先日塘路湖畔を襲った大雨で、雪はほとんど解けてしまいました。動物たちの足跡は跡形もなく消えてしまいましたが、足跡などの痕跡の代わりに道路脇でしきりに食べ物を探す生エゾシカを見ることが多くなりました。



エゾシカの群れ (コッタロ湿原)

二本松付近で道路を横切って行った群れ。周辺には多くのシカが住み着いているようです



エゾシカの頭骨 (サルボ展望台)

展望台登り口で見つけたエゾシカの頭骨。死後数年は経っているものと思われます



エゾシカのフン (サルボ展望台)

この時期は人が通らないからか、道沿いのあちこちにエゾシカの糞が落ちています



キタミフクジュソウ (2月28日)
左上：フクジュソウ (平成29年4月24日)

◎フクジュソウが開花しました

サルボ展望台の登山口付近では早くも春を告げる花フクジュソウが開花しています。暖かな日差しの下、雪解けが進んだ枯れ野の中で、ひととき存在感を放つ黄色の色彩を見ると、春が着実に近づいていることを実感できます。

ちなみに今回見つけたのは「キタミフクジュソウ」。塘路湖畔ではキタミフクジュソウと(ただの)フクジュソウが見られ、見分け方はいくつかありますが、一つの茎に花が一つしかついていなければ「キタミフクジュソウ」、複数の花がついていれば「フクジュソウ (左上)」と覚えると見分けが簡単です。

～【コラム】湿原はスポンジ!!～

湿原はよくスポンジにたとえられます。保水力が高く、雨が少ない時は内部に蓄えている水を排出することで周辺域を潤す一方、大雨が降った時は多くの水を保持することで、下流域に一気に水が排出されるのを防ぐと言われています。

先日道東を襲った大雨の後、塘路湖をはじめとする湖沼は数日間水位が下がらず、一部の道路も冠水した状態が続きました。右は平常の状態(左列)と先日の大雨後(右列)の写真。水位がかなり高くなっているのは湿原が内部に大量の水を保持している証。湿原の持つこの保水機能が、下流域を大規模な水害から守る上で重要な役割を果たしているのです。(上段：塘路湖畔 下段：サルボ展望台から見た塘路地区の湖沼群)



■塘路湖周辺をスノーシューで散策

3月3日(土)、今年度最後のイベント「塘路フィールドウォッチング」を開催しました。この日の参加者は日本在住のアメリカ人女性二人組だけとやや寂しかったですが、春を思わせるような暖かな日差しに恵まれて、塘路湖畔歩道～フィトンチッドの森～元村キャンプ場～塘路湖湖上のコースをスノーシューで散策しました。道中、湿原を代表する樹木の説明を行うとともに、湖畔の竪穴住居やかつての殖民軌道などの史跡の紹介を行いました。その後、元村キャンプ場からは凍結した湖面に出て、御神渡りの名残を観察しました。

この日は前々日の暴風雪で足跡が消えてなくなるなど、動物の気配はあまり感じられませんでした。代わりにオオワシ・オジロワシ・オオハクチョウをはじめ、野鳥が多く見られたこともあり、冬の塘路湖を満喫できる良い一日となりました。



4月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

◎早春の湿原 野鳥観察会

[日 時] 4月21日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] シラルトロ湖・茅沼蝶の森周辺(集合は憩いの家かや沼駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

◎春の足音を聴きに行こう

[日 時] 4月15日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター(0154-65-2323)まで

◆日出・日入時間 2/15(6:21,16:53). 2/28(6:01,17:10). 3/14(5:37,17:27)

～編集後記～

■陽の光も強くなり、昼間の時間も長くなってきました。早くも日当たりの良い場所ではフクジュソウが咲き、太陽に向かって金色の花卉を大きく広げています。しばらくすると小さな虫が飛んで来たり、アカゲラのドラミングが聞こえてきました。まだまだ雪と氷の残る釧路湿原ですが、生きものたちは小さな春を感じて活動を始めたようです。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料